

講義名	金融論		
科目区分	学科専門 展開		
担当教員	福田 司文		
開講期・曜日・時限	後期 金曜日 1時限	授業形態	
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース/2018年度 人間社会学部 人間健康学科 健康マネジメントコース/2018年度 人間社会学部 人間健康学科/2018年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース/2018年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース/2018年度 人間社会学部 観光学科/		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

主題と概要

金融市場の役割とそれがどのように経済活動に貢献しているかを理解する。金融市場では金融取引と称される経済活動が行われ、そこでは金利が重要な活動指標となっている。金利がどのように成立するのか、どのような環境によって変動するのかを中央銀行との関わりでも理解を深める。

到達目標

- (1) 金融取引の仕組みを理解する
- (2) 金融機関が金融市場で果たす役割について理解する
- (3) 金利について理解する
- (4) 中央銀行や金融政策の初歩について理解の端緒を得る

提出課題

授業中に理解を確認する簡単なクイズを数回実施。提出を求める。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

受講者が多くない場合は、提出課題をチェック返却します。
受講者が多数の場合は、課題の理解ポイントを授業で確認・解説する。

評価の基準

授業での課題提出を30%、期末試験の評価を705として評価する。

履修にあたっての注意・助言他

金融活動に興味を持って受講してください。

教科書
. 使用しない。

プリント資料及び参考文献

授業は授業プリントを配布し、プリントに従って進める。

- 参考文献
- 金融の仕組みと働き、岡村・田中他、有斐閣ブックス
 - 金融システム論、岡村・田中他、有斐閣コンパクト
 - 金利と経済、翁邦雄、ダイヤモンド社

授業計画

1. 概要の説明
2. 金融の仕組みと働き
3. 資金の流れ
4. 銀行の活動
5. 証券会社、保険会社、ノンバンク
6. 金融市場
7. 金融取引と金利
8. 金融取引と特徴と課題
9. 金融取引と公的機関
10. 貨幣の働き
11. 金利のコントロールと金融市場
12. 金融政策
13. 中央銀行の役割
14. 企業金融
15. まとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

復習を中心に学修を指示する。授業中課題を持ち帰って自宅で完成させる。あるいは配布プリントの理解を求める。毎回、1時間程度必要。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考